

職員による自己評価

A環境面

活動に十分なスペースが確保されており、設備のバリアフリー化もされている。

事業所内や送迎車も専門業者による除菌コーティング施工や消毒など徹底的に行われた。

B児童への支援内容

以前より、外出自粛の期間が減ったため、事業所外で体を動かす活動を増やしつつ、子ども達の要望と保護者のニーズとのバランスがとれた、様々なプログラム作成を行っている。

C関係機関との連携

保護者とも連絡とっており、学校・関係機関とのさらなる、連携の強化に努めている。随時、緊急連絡先も毎月の広報に記載している。

D保護者への説明責任・信頼関係

保護者には、電話・メール・書面でも様々なケースにも対応できるように配慮している。

E非常対応

非常時マニュアルがある。

保護者による評価

A環境面

新型コロナウイルス感染防止の為の活動に十分なスペースが確保されています。

それぞれの子ども達の状況に合ったスペースの区別化ができ、適切な職員の配置もできています。

B児童への支援内容

毎回プログラムが工夫されていて子どもも楽しみにしています。

C事業所からの情報発信

子どもや保護者との意思疎通や情報伝達は日頃から出来ています。

毎月のカリキュラムを前月に保護者に配布をしています。

D非常対応

非常時のマニュアルについては保護者への周知もまばらである。

事業所内での分析

【共通点】

環境面と児童への支援内容に関する評価では職員、保護者共に概ね整った結果となった。

新型コロナウイルスの感染状況が改善されたら、保護者同士の連携や情報交換の場を設けたいと職員一同検討している。

【相違点】

非常時のマニュアルについては、保護者への周知がまばらである為、避難場所・保護者への引き渡し方法などの体制が整っていても、実際に災害が起きた時の対応は難しい状況下にあると云える。

分析・検討してみても…

事業所の強み

子ども達への支援体制は、設備、職員、活動プログラムなどが整っている。
活動プログラムは、新型コロナウイルスの感染状況に応じて組み立てる事が出来ている。
各保護者との関係構築は日頃から出来ており、非常時には電話やメールなどで随時対応出来ている。

事業所の改善点

学校送迎時間の相互認知のズレ無くすために、保護者との情報伝達だけでなく、学校機関との連携も強化して行きたい。

事業所の改善への取り組み

学校によって、学校側からの情報提供が積極的でない場合がある為、時間調整に苦慮することがあるため、各学校に協力をお願いしていきます。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者様にアンケートをご協力頂き、現在のエルアスの良い評価や、エルアスで改善した方がよいところのアドバイスを頂きました。
新たな改善点と今後も継続した方がよい点が明確化できたので、職員と保護者のコミュニケーションを重ねて関係構築を継続し、子どもたちにとってより良い支援ができるように励んでいきます。